

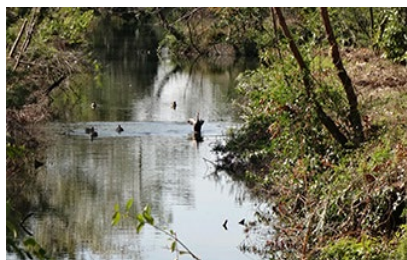
コマツ グリーン調達ガイドライン



里山公園・・・コマツ大阪工場(大阪府枚方市)



こまつの杜(里山公園)・・・コマツ総合研修所(石川県小松市)



小山工場 ビオトープ



郡山工場 ビオトープ

2023 年 4 月
コマツ調達本部

KOMATSU

目 次

【】は今回の改訂箇所を示します

1. はじめに	1 ページ
2. コマツ地球環境方針	2 ～ 3 ページ
3. グリーン調達方針とお取引先様に取り組みをお願いしたい事項	4 ページ
3-1. 環境マネジメントシステムの構築	5 ページ
3-2. 温室効果ガス（GHG）の削減【取組強化】	
3-3. 資源循環の推進【取組強化】	6 ページ
3-4. 水リスクの低減【新規追加】	
3-5. 生物多様性への対応【新規追加】	
3-6. 化学物質及び紛争鉱物の管理	7 ～ 8 ページ

1. はじめに

お取引先の皆様には、日頃よりコマツグループの生産・調達活動に対し多大な御協力をいただき心からお礼申し上げます。

コマツは、「企業価値とは、私たちを取り巻く社会とすべてのステークホルダーからの信頼度の総和である」という考えを経営の基本に掲げており、社会とすべてのステークホルダーからの信頼度を向上させるため、2008 年に加盟した「国連グローバル・コンパクト」、1998 年に制定した「コマツの行動基準」、及び弊社の普遍的な理念をまとめた「コマツウェイ」等の原則・ルールを順守し、グループ全体でコンプライアンスの徹底をはかっています。

このようなコマツの「企業の CSR(Corporate Social Responsibility)に対する考え方」をお取引先の皆様と共有化し、社会的責任をより確実に果たすために、2011 年 8 月に「CSR 調達ガイドライン」としてまとめ、公開・配布しました。

環境に関しては、1992 年に制定した「コマツ地球環境基本方針」に沿って、お取引先の皆様にも環境負荷の低減に向けて取り組みをいただいてきましたが、気候変動への喫緊の対応、エネルギー需給の逼迫、化学物質管理の厳格化など、私たちを取り巻く環境も昨今大幅に変化し、サプライチェーン全体を俯瞰して更なる努力が必要とされる状況になってきています。

この「グリーン調達ガイドライン」は、「CSR 調達ガイドライン」のうち、特に環境マネジメント上の諸課題とその対応を明確にするという目的で、公開・配布させていただくものです。今回の改訂では、社会において新たに要請されている課題について、内容の追加と修正を実施しました。

お取引先の皆様におかれましては、「CSR 調達ガイドライン」及び「グリーン調達ガイドライン」に基づいて CSR と 環境のマネジメント を更に強化して社会的責任を果たすとともに、皆さんの取引先にも展開していただき、自社の企業価値向上とリスク管理強化を図っていただくよう御協力をよろしくお願い申し上げます。

2023 年 4 月
調達本部長
千田悟郎

2. コマツ地球環境方針（2022年6月改訂）

私たちコマツは、持続可能な社会の実現を図りつつ事業活動を進めるにあたり、コマツグループの環境保全の基本方針を明確にし、積極的に環境保全活動を推進しています。

コマツ地球環境方針

基本理念

1. 持続可能な発展への貢献

人類は、豊かで快適な社会を発展させるとともに、かけがえのない地球環境を健全な状態で次の世代に引き継いでいかなければなりません。

私たちコマツは、環境保全活動を経営の最優先課題の一つとして位置付け、あらゆる事業活動において、先進の技術をもって環境保全に取り組みます。また、2050年までにCO2の排出を実質ゼロとするカーボンニュートラルを目指し、ものづくりや製品から排出するCO2の削減、循環型社会構築への取り組みによって持続可能な発展に貢献します。

2. エコロジーとエコノミーの両立

私たちコマツは、エコロジー（環境に優しい）とエコノミー（経済性に優れている）の両立を追求し、お客さまに満足いただける優れたものづくりを行います。商品の生産から廃棄までのライフサイクル全体の環境負荷が最小限になるように努めるとともに、燃費の改善や作業現場の効率向上、循環型事業など、経済性にも優れた商品、サービス、ソリューションを提供するために、常に技術革新に取り組みます。

3. 企業の社会的責任

私たちコマツは、それぞれの事業所の立地している地域法令の遵守はもとより、地球環境および各地域の環境課題を踏まえた自主基準を制定して環境保全を推進します。また、各地域の環境活動への参加や、社会への環境関連情報の開示に努め、ステークホルダーとの緊密なコミュニケーションを図ることによって、企業の社会的責任を果たすとともにより良い地球と未来の実現を目指します。

行動指針

1. 地球環境問題への取り組み

私たちコマツは、事業活動が地域および地球規模の環境問題と深く関わりがあることを認識し、以下の取り組みによって持続可能な発展および気候変動の緩和と適応に貢献します。

1) 気候変動への対応

コマツの事業活動における全ライフサイクルで使用するエネルギーおよび排出する温室効果ガスを削減します。

また、自社の拠点、自社の製品使用時におけるCO2排出量の削減にとどまらず、お客さまの現場施工の最適化により社会全体のCO2削減にも積極的に貢献します。

2) 循環型社会の構築

事業プロセスを通じて、材料・水などの地球資源の投入量を極力削減し、それらの循環を可能な限り推進するとともに、すべての事業領域での廃棄物削減の徹底を図ります。

また、植林・育林・伐採の循環型林業を支える林業機械事業や、コンポーネントを再生・再利用するリマン事業にも取り組み、循環型社会の構築に貢献します。

3) 大気・水環境などの保全および化学物質管理

水質保全、大気汚染防止、騒音振動防止などについて、地域の法令はもとより自ら制定した基準も含め遵守します。

また、事業活動の中で使用する化学物質の確実な管理を行うとともに、有害な可能性のある化学物質は継続的に削減・代替に努め、可能な限り使用を中止します。

4) 生物多様性への対応

生物多様性を地球環境の一つの重要課題と認識し、事業領域全体で生物多様性への影響を評価・把握・分析し、影響・効果の高い施策から優先して取り組みます。

2. 環境マネジメントシステムの構築

コマツおよび主要な関係会社は環境マネジメントシステムを構築し、環境活動の維持・向上を目指します。その他の関係会社・協力企業においてもこれに準じた体制を整備し、グループ全体での環境負荷低減に取り組みます。

また、中期経営計画に基づき設定された中長期目標に則り、グループ各社・各事業所はそれぞれの中長期目標を設定し、具体的な活動計画を策定・推進します。目標や活動計画及び活動状況は、トップマネジメントが定期的にレビューし、継続的な改善に取り組みます。

3. 環境教育および環境コミュニケーション

私たちコマツは、一人ひとりの環境意識の向上が大事であると考え、全従業員への環境教育・啓発活動を積極的に推進します。また、グループ各社・各事業所の環境関連情報を収集し、事業活動全体の情報公開に努め、お客さま、従業員、地域社会、協力企業など、コマツを取り巻くすべてのステークホルダーとの積極的な対話を深め、環境コミュニケーションをより充実させます。

2022年6月改定
サステナビリティ推進委員会により承認

中長期目標

コマツは、2019 年度から新たな中期経営計画を挙げて活動を進めています。新たに ESG 目標を設定し、成長戦略による収益向上と ESG 課題可決の好循環で持続的成長を目指すことを示しました。

2019 年度からの目標では、2030 年までに製品、生産における CO₂ 排出 50%削減を目指します。また、新たな指標として、2030 年までに再生可能エネルギー電力比率（RE 比率）50%を目指すこととしました。その他の指標を含めた、新たな 2030 年中期目標は以下の通りです。

区分	適用	対象	指標	基準年	2030年 目標
製品	建設機械 鉱山機械 林業機械 など	CO ₂	燃料消費	2010	50%削減
生産	国内外生産事業所	CO ₂	原単位改善率	2010	50%削減
		電力	使用電力に占める再エネ電力比率	-	50%
		水	原単位改善率	2010	60%削減
		廃棄物	原単位改善率	2010	40%削減
物流	国内	CO ₂	原単位改善率	2006	39%削減
	海外	CO ₂	原単位改善率	2011	22%削減

3. グリーン調達方針と

お取引様に取り組みをお願いしたい事項

コマツが地球環境に優しい商品をお客様に提供するためには、生産の重要要素である 原材料、コンポーネント、部品等においても、環境に配慮された商品・製品であることが必要 となります。

弊社は次の二つの方策により、環境に配慮した「グリーン調達」を推進します。

- ①環境への負荷の少ない商品・製品を優先的に調達します。
- ②環境に配慮したマネジメントシステムを構築しているお取引先様から優先的に調達します。

「グリーン調達」を推進していくために、お取引先様には以下に掲げる事項に対する取り組みを依頼いたします。なお、各社様のお取組状況については、実務の中で適宜確認させていただきますので、趣旨を御理解のうえ御対応をお願いします。

お取引様への依頼事項一覧 （○全てのお取引様を対象 △一部のお取引様を対象、弊社から都度依頼）

項目			対象のお取引内容				記載 ページ	備考	
			製品・ 部品	原材料・ 副資材	設備・ 工事等 (^{*6})	物流 (^{*7})			
お取引先の 事業活動に おける取 組み	1	環境関連法令の順守		○	○	○	○	—	各国、各地域における法律及び政令、 省令、通達、条例/規制等法律に準じる 規定類の順守は以下の活動を推進する 上での前提条件となります。
	2	環境マネジメントシ ステムの構築	第三者認証(^{*1})の取得・更新	○	△	△	△	5 ページ	*1: ISO14001等（後掲）を推奨。な お、みどり会会員企業様には入会後3年 以内の取得をお願いします。
			ライフサイクル(^{*2})全体での環境 マネジメントの推進	○	○	○	○		*2: 原材料の調達～自社での製造～お 客様での使用～廃棄・リサイクルまでの全 期間を意味します。
	3	温室効果ガス （GHG）の削減	ライフサイクルでのCO ₂ 排出量 の削減（SBT(^{*3})に準拠した 目標設定が望ましい)	○	○	○	○		*3: Science Based Targetの略で、 2015年パリ協定が求める水準と合致し た、企業が定める削減目標。
	4	資源循環の推進	資源の有効活用及び投入量 の削減	○	○	○	○	6 ページ	
			廃棄物の削減	○	○	○	○		
	5	水リスクの低減	水使用量の削減	○	○	○	○		
			水質汚染の防止	○	○	○	○		
6	生物多様性への対応		○	○	○	○			
当社へ供給 いただく部 品・原材 料・梱包材 等における 取り組み	7	化学物質(^{*4})及び 紛争鉱物(^{*5})の管 理	環境負荷物質の管理・削減/ 代替・報告	○	○	○	○	7 ページ	*4: EUのREACH規制等
	紛争鉱物の不使用と管理体制 の構築		○	○	○	○	8 ページ	*5: コンゴ民主共和国及び周辺9ヶ国か ら産出されるタンタル、錫、タングステ ン、金が対象	

*6: 弊社事業所構内における委託業務（清掃、造園、保管等）を含む。

*7: 弊社への納入物流及び弊社からの委託物流を含みます。

3-1: 環境マネジメントシステムの構築

コマツは、環境保全活動を組織的に管理し、継続的改善を進めております。

お取引先様におかれましても、環境保全活動を推進し、継続的改善が実現できる体制を構築し、その確実な推進のために、以下に掲げる第三者認証機関による認証制度のいずれかを取得、継続更新いただくようお願いします。

第三者認証については、下記を推奨します。

(1) ISO 14001 (国際標準化機構)

(2) エコステージ

(一般社団法人エコステージ協会 : <https://www.ecostage.org/>)

上記の第三者認証取得が困難な特別の事情のある場合

(3) エコアクション 21 (環境省 : <https://www.ea21.jp/ea21/>)

(4) KES (京都・EMS スタンド)

(特定非営利活動法人 KES 環境機構 :

<https://www.keskyoto.org/index.html>)

(5) その他、官公庁／各自治体等で運営している認証

3-2: 温室効果ガス (GHG) の削減

コマツは、生産活動および製品・サービスのライフサイクル全体での温室効果ガス (GHG) 排出量の削減に努めています。

お取引先様におかれましても、製品・サービスのライフサイクルにおける GHG 排出量の評価、各事業拠点での削減目標設定、改善事例の水平展開等、地球温暖化防止に向けた積極的な取り組みをお願いします。

1) 全てのお取引先様

お取引先様の事業活動における、省エネルギー (生産効率改善による使用電力量削減を含む) 及び GHG (CO₂、フロン等) の排出量削減の取り組みをお願いします。なお、みどり会会員企業様には、2023 年度より、CO₂排出量の 2.5%/年削減 (原単位ベース、対 2020 年実績) への継続的な取り組みをお願いします。

2) 委託物流に携わるお取引先様

物流による CO₂排出量の確実な管理及び改善のため、コマツの製品・部品の物流により発生する CO₂排出量の実績及び原単位となる指標の把握と報告をお願いします。また、CO₂排出量の削減活動の推進をお願いします。

3-3: 資源循環の推進

コマツは、生産活動において材料・水等の地球資源の投入量を極力削減することに努めるとともに、部品やコンポーネントを再生・再利用するリマン事業等を通じて、それらの循環を可能な限り推進します。また全ての事業領域での廃棄物削減の徹底を進めています。

お取引先様におかれましても、資源の有効活用及び循環に向けた積極的な取り組みをお願いします。

1) 全てのお取引先様

資源有効利用のために、下記等への取り組みをお願いします。

- ・材料使用の削減
- ・資源の再利用やリサイクル推進などによる廃棄物の削減及び廃棄物の適正処理（不法投棄などの防止）
- ・再生材の活用促進
- ・製品・部品、原材料・副資材の輸送に用いる梱包資材使用量の削減

3-4: 水リスクの低減

世界人口の増加や気候変動により、将来的な水資源の枯渇が懸念されています。

コマツは、このような水リスクを低減するために、生産活動における水使用量の削減と再利用、及び排水水質の管理・改善に努めています。

お取引様におかれましても、水リスク低減に向けた取り組みをお願いします。

1) 全てのお取引先様

水リスク低減のために、下記等への取り組みをお願いします。

- ・水使用量の削減、事業所での水の循環再利用、雨水の活用
- ・排水の水質管理徹底と水質向上
- ・取水源の保全

3-5: 生物多様性への対応

生物多様性とは、地球上に 3,000 万種もの生きものたちが夫々の個性を持ち、直接的間接的に互いに繋がりながら生存していることを指します。

コマツは、弊社の事業活動が生物多様性に依存し、また影響を与えているとの認識のもと、生物多様性が損なわれつつあるという危機感を共有し、生物多様性の保全に貢献する取り組みを進めています。

お取引様におかれましても、生物多様性に対して最大限の御配慮をいただき、自然保護や生物多様性保全の取り組みをお願いします。

1) 全てのお取引先様

生物多様性保全のために、以下等への取り組みをお願いします。

- ・製品ならびに事業所における環境負荷の低減
- ・土地利用時における生物多様性への配慮
- ・社会貢献活動を通じた生物多様性保全への寄与

3-6: 化学物質及び紛争鉱物の管理

1) 化学物質の管理

コマツは、法令順守はもとより、環境に大きな影響をおよぼす可能性のある物質の使用、排出削減に努めています。

お取引先様におかれましても、下記事項を確実に実施し、環境リスク管理の徹底をお願いします。

1) 全てのお取引先様

環境マネジメントシステムのもと、環境関連法令を順守し、環境リスク管理の徹底を図って下さい。

2) 製品・部品、原材料・副資材のお取引先様

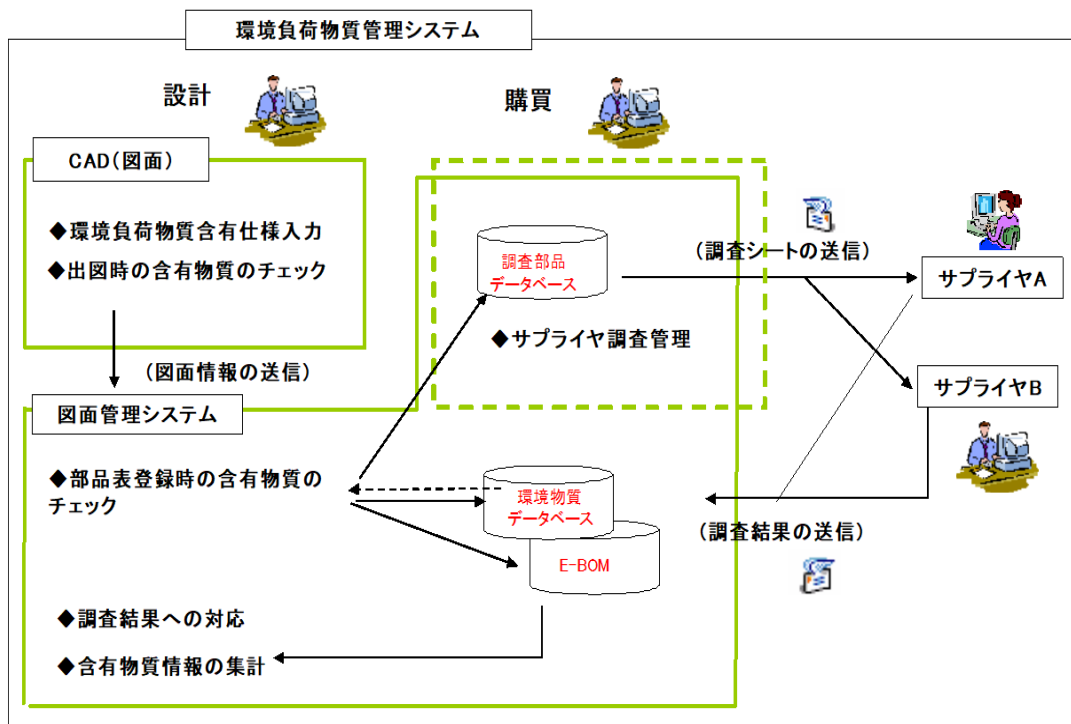
- ①環境負荷物質の使用可否については、コマツ技術標準（KES 07.000.1「製品含有環境負荷物質の使用制限」）に従い対応をお願いします。
- ②コマツより指定された製品・部品、原材料・副資材については、下記のいずれかのデータシートにより、コマツ環境負荷物質管理システム（GDMS）への登録をお願いします。

a. JAPIA シート（日本自動車部品工業会、日本建設機械工業会統一シート）

https://www.cema.or.jp/general/system_document/japia/index.html

b. IMDS（自動車産業界向けマテリアルデータシート）

<https://public.mdsystem.com/ja/web/imds-public-pages>



２）紛争鉱物の管理

コマツは、CSR 活動の一環として、国連のグローバル・コンパクトに署名し、人権、労働、環境、腐敗防止活動に取り組んでいます。

その一環として、「紛争鉱物」について、産出地における人権侵害リスクが懸念される原材料を自社の製品に使わないようにする活動を進めています。お取引先様におかれましても、紛争鉱物の対応に向けた積極的な取り組みをお願いします。

１）全てのお取引先様

- ①米国ドッド・フランク法（DFA）が対象とするコンゴ民主共和国およびその周辺の 9 カ国（*1）から産出される「紛争鉱物（金、錫、タングステン、タンタル）」について、人権侵害のリスクがある原材料を自社の製品に使わない取り組みをお願いします。
- ②必要に応じ、一部のお取引先様に対し、弊社に納入いただく製品・部品・材料につき、DFA 9 カ国および高リスク地域（*2）から産出される鉱物の含有量と原産国（精錬業者）の調査・報告を依頼することがございますので、御協力をお願いします。

* 1：南スーダン、中央アフリカ共和国、コンゴ共和国、ウガンダ、ルワンダ、ブルンジ、タンザニア、アンゴラ、ザンビア

* 2：EU で規制される地域（CAHRAs）

問合せ先

コマツ調達本部 調達企画部
〒107-8414 東京都港区赤坂 2-3-6

KOMATSU